

iPad の活用

～基本設定とアクセシビリティ～

iOS 8 ver



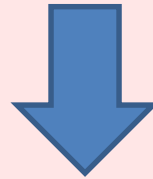
H27.5.17

静岡医療福祉センター

加藤 直樹

画面の回転を止める

Q1.「画面がクルクル回ってしまい、操作ができない！」

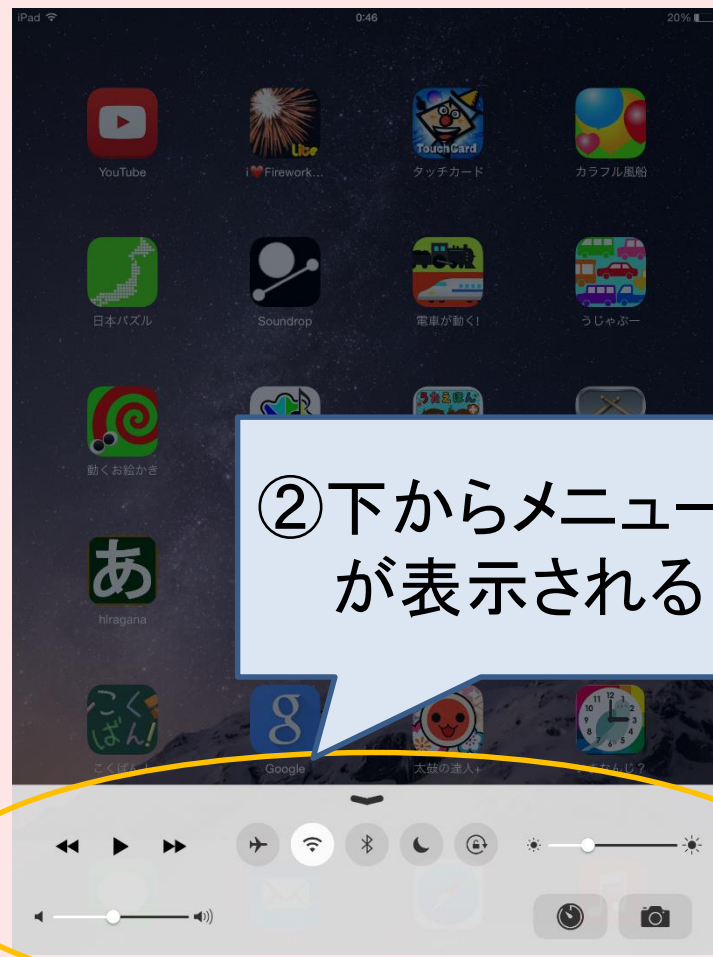


A1.画面の回転を止める(ロック)機能を使う！

画面の回転を止める



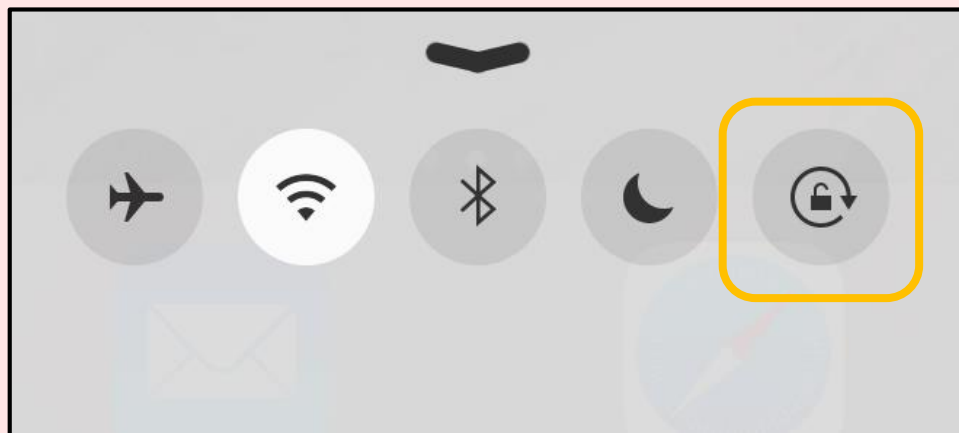
①画面下部から上にスワイプする



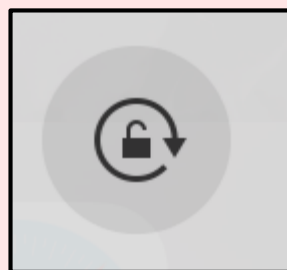
②下からメニューが表示される

画面の回転を止める

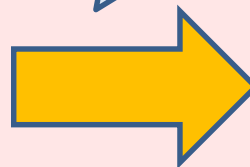
コントロールセンター



③ アイコンをタップしてロックにする



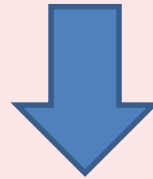
解除(灰色)



ロック(白)

マルチタスク用ジェスチャ

Q2.「画面を触っていると急に違う画面に切りかわってしまう」



A2.マルチタスク用ジェスチャをオフにする！

マルチタスク用ジェスチャとは

★4本または5本指の操作で以下のことが出来る

- ・ピンチ → ホーム画面に移動する
- ・上にスワイプ → マルチタスクバーを開く
- ・左右にスワイプ → アプリを切り替える

しかし...

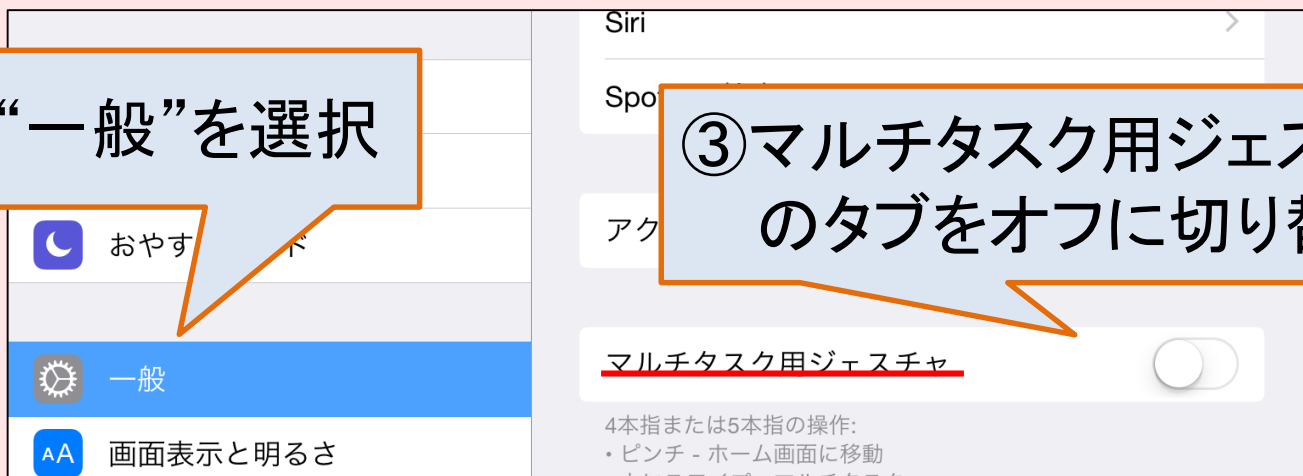
慣れない状況やお子さんには使いづらい

マルチタスク用ジェスチャをオフにする

①ホーム画面から
設定を開く



②“一般”を選択



③マルチタスク用ジェスチャ
のタブをオフに切り替える



オン

オフ

アクセシビリティ

★視覚サポート

- Voice Over
- ズーム機能
- 色を反転
- グレイスケール
- コントラストを上げる etc

★聴覚サポート

- モノラルオーディオ
- 左右音量バランス調整

★学習サポート

- アクセスガイド

★操作

- スイッチコントロール
- Assistive Touch
- ホームクリックの間隔

★ショートカット

アクセシビリティ

★視覚サポート

- Voice Over
- ズーム機能
- 色を反転
- グレイスケール
- コントラストを上げる etc

★聴覚サポート

- モノラルオーディオ
- 左右音量バランス調整

★学習サポート

- アクセスガイド

★操作

- スイッチコントロール
- Assistive Touch
- ホームクリックの間隔

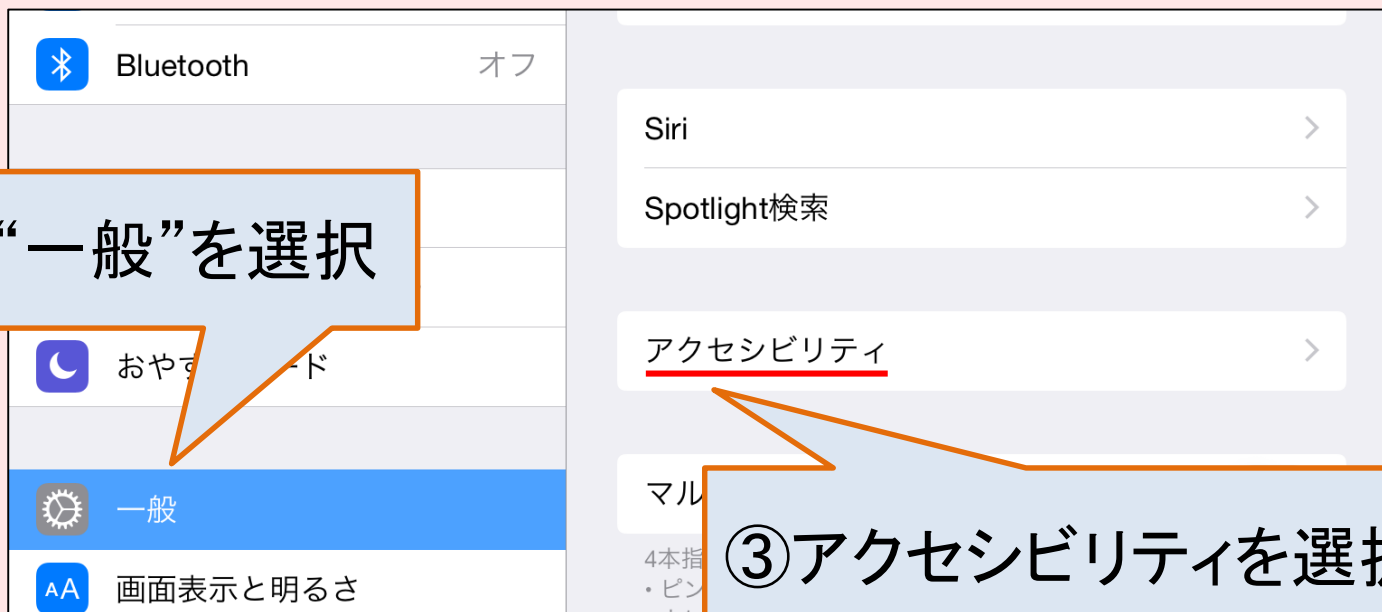
★ショートカット

アクセシビリティ

① ホーム画面から
設定を開く



② “一般”を選択



③ アクセシビリティを選択

ショートカット

ホーム画面やアプリの起動中にホームボタンをトリプルクリックすることで、以下のアクセシビリティのオン・オフを切り替えたり、設定の変更ができます。

- VoiceOver
- 色を反転
- グレイスケール
- ズーム機能
- スイッチコントロール
- AssistiveTouch
- アクセスガイド

ショートカットへの登録

操作

スイッチコントロール

オフ >

オフ >

最も遅く

④ ショートカットを選択

ショートカット

< アクセシビリティ ショートカット

ホームボタンのトリプルクリック:

VoiceOver

色を反転

グレイスケール

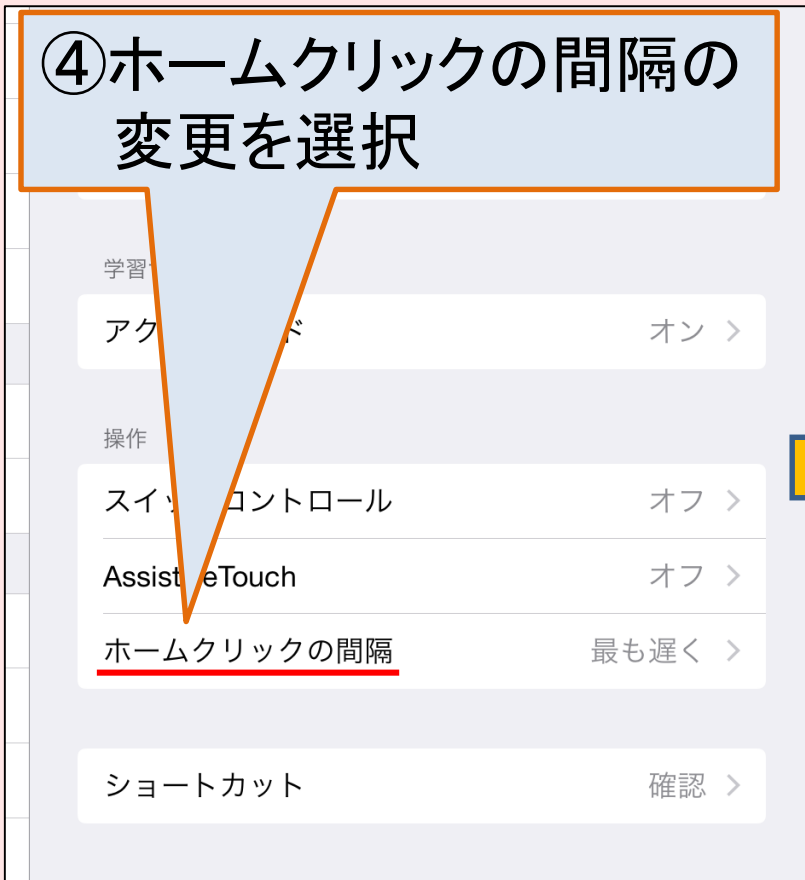
⑤ 項目にチェックを入れて
ショートカットに登録

AssistiveTouch

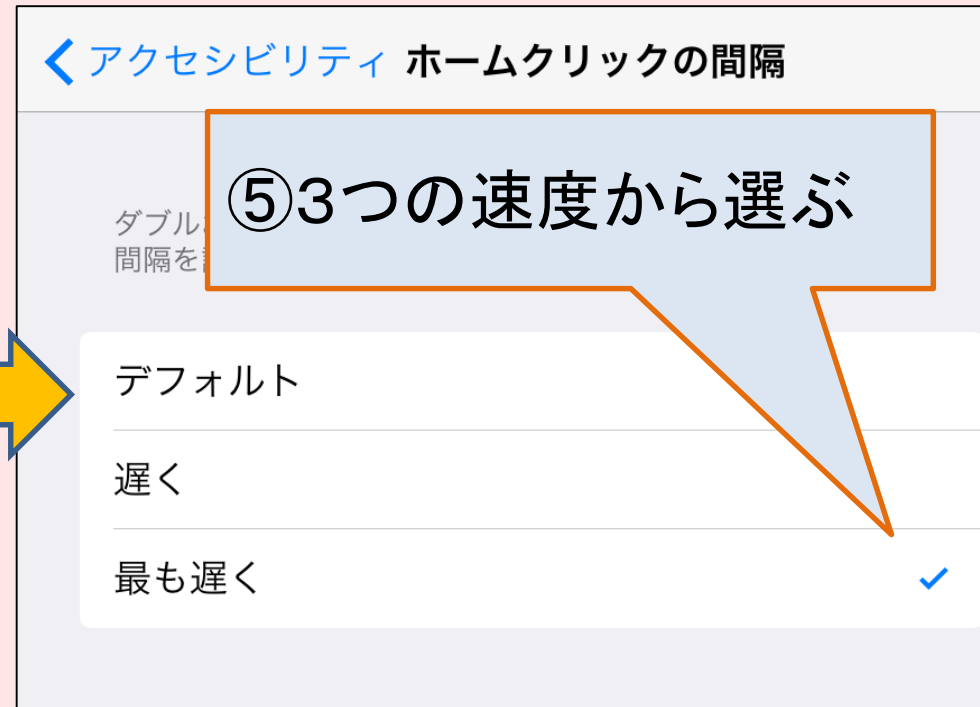
ホームクリックの間隔を変更

ダブルおよびトリプルホームクリックを有効にするのに必要な間隔を調整します。

④ホームクリックの間隔の変更を選択

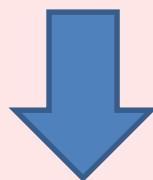


⑤3つの速度から選ぶ



アクセスガイド

Q3.「無料アプリの広告やホームボタンを触って
しまい画面が切りかわって遊びが続かない」



A3.アクセシビリティのアクセスガイドを活用する

アクセスガイドとは

iPadユーザが作業に集中するために役立ちます。アクセスガイドによって、iPad で使用できるアプリが 1 つに制限されます。また、使用できる App の機能を制御できます。主に次のことができます

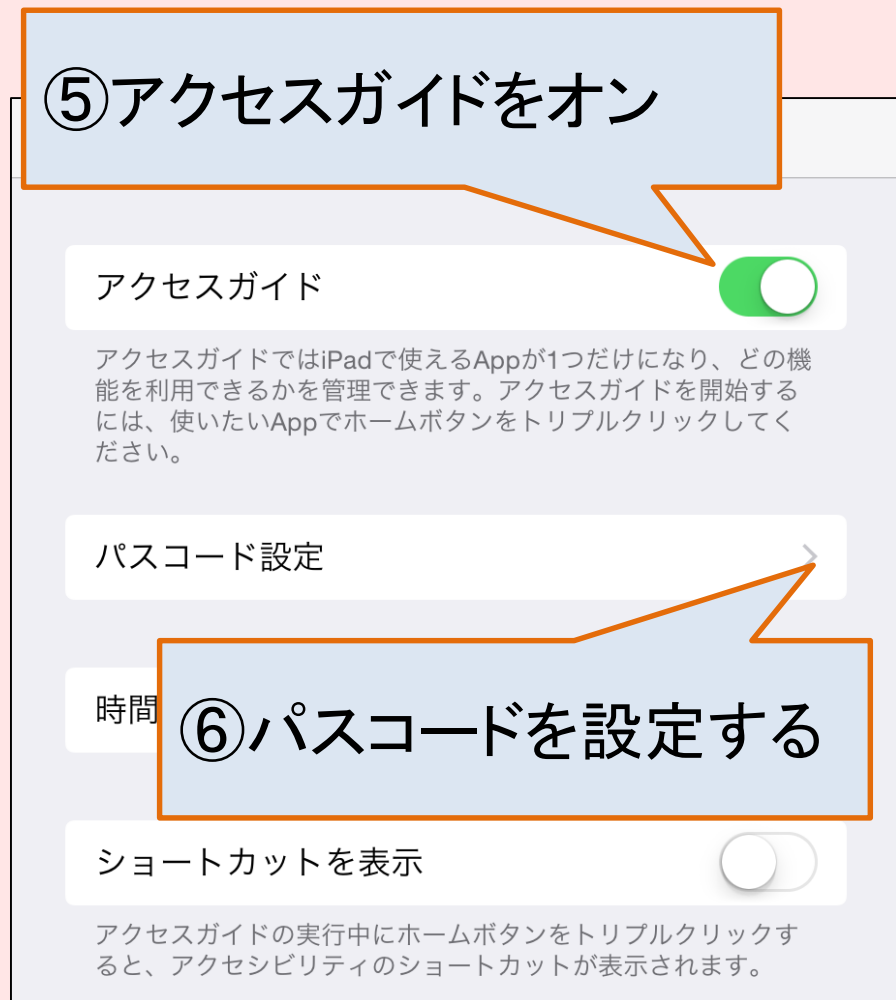
- 一時的に iPad を制限し、特定のアプリのみ使用するようにする
- 作業に関係のない画面領域や、誤ったジェスチャを無効にする
- iPad のハードウェアボタンを無効にする

アクセスガイド

④ アクセスガイドを選択



⑤ アクセスガイドをオン



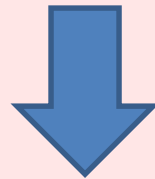
アクセスガイド



- ※無効にしたい部分とともにホームボタンや音量ボタンもロックできる
- ※解除方法は「ホームボタンを3回タップ」⇒「パスコード入力」⇒「終了を押す」
- ※一度設定したものはアプリ毎に記録され、毎回設定しなくてもよい

Assistive Touch

Q4.「力が弱くてホームボタンが押せない」
「ピンチなどのジェスチャーができない」
「両手が使えない」 など



A4. アクセシビリティのAssistive Touchを活用する

Assistive Touch

④ Assistive Touchを選択

ビデオアシスト オフ >

学習サ

アクセシビリティ オン >

操作

スイッチコントロール オフ >

AssistiveTouch オフ >

ホームクリックの間隔 最も遅く >

ショートカット 確認 >

⑤ Assistive Touchをオン

AssistiveTouch



画面をタッチすることが困難な方や支援アクセサリが必要な方も簡単にiPadを使用できます。

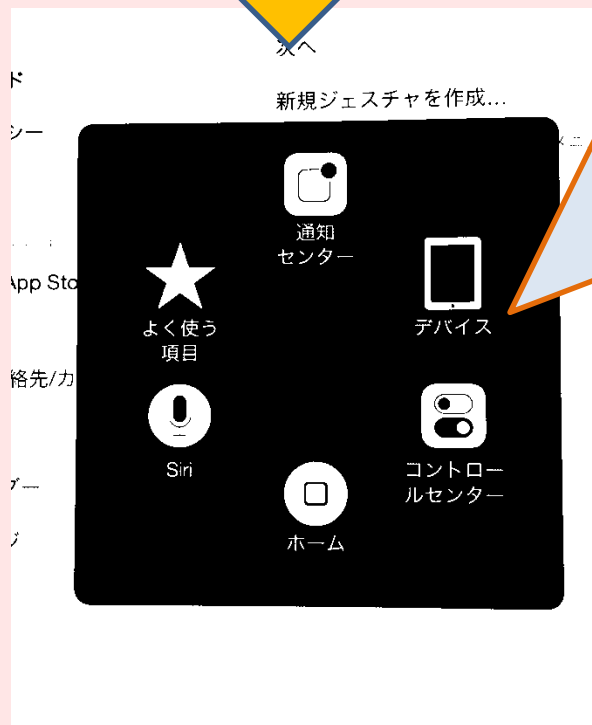
カスタムジェスチャ

新規ジェスチャを作成... >

オリジナルのジェスチャを記録して、メニューの“よく使う項目”に追加して使用できます。

Assistive Touch

⑥画面の端に白丸が表示される
これをタップする



Siriの起動(音声でiPadを操作できる)



ホームボタンの実行



「よく使う項目」

指1本でピンチジェスチャーを実行
独自のジェスチャーを作ることにもできる



「デバイス」

画面のロック、画面を回転、音量調整、
スクリーンショット、マルチタスク etc

スイッチコントロール

スイッチコントロールは、1つのスイッチまたは複数のスイッチを使ってiPadを操作できます。

基本となる機能は次の3つです。

- 項目ハイライト
- ポイントハイライト: ハイライト十字カーソルを使って画面位置を選択
- 手動選択: 手動で項目間を移動できます(複数のスイッチが必要)

スイッチコントロール

④ スイッチコントロールを選択

操作

スイッチコントロール オフ >

AssistiveTouch オフ >

ホームクリックの間隔 最も遅く >

⑥ スイッチコントロールをオン

スイッチコントロール

スイッチコントロールをオンにすると、画面項目を順番にハイライトします。ハイライト中に支援アクセサリで入力操作を行うことで、iPadの操作を実行できます。

⑤ スイッチを設定

スイッチ 0 >

自動ハイライト

Voice Over

- Voice Over は画面の表示項目が音声で説明されるため、画面を見なくてもiPadを使用できます。
- 画面上の各項目を選択すると、Voice Over カーソル（長方形）によって項目が囲まれ、その要素について説明します。
- ディスプレイが縦向きまたは横向きに変更されたときや、画面が暗くなったときまたはロックされたときにもそのことを知らせます。

Voice Over

← ④ Voice Overを選択

視覚サポ—

VoiceOver オフ >

ズーム機能 オフ >

色を反転

グレイスケール

スピーチ >

← 戻る

VoiceOver

VoiceOver



VoiceOverを使用すると、画面上の項目が読み上げられます。

⑤ Voice Overをオン

読み上げ速度

